

平成26年度 行動計画・進捗管理 (進捗管理)	総務委員会	責任者: 松井 隆	2015.4.1
-------------------------	-------	-----------	----------

■ 行動指針 (各委員会の該当する行動指針)

- (1) 総務・事務局整備
- (2) 財務・会計
- (3) 会員・協賛団体拡大
- (4) 会規・会議・名簿

■ 中期計画 (24年度スタート、3年の重点活動施策)

	25年度	26年度
1. 事務局整備	←	→
2. 財務・会計	←	→
3. 会員及び協賛団体拡大	←	→
4. 会規・会議・名簿	←	→

■ 今年度 (26年度) の行動計画

行動指針No	業務活動名	業務活動内容	担当	スケジュール・進捗状況												チェック								
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
1	総務 事務局整備	1-1 事務所管理(事務所整備、PC管理)	松井、滝沢、 仲野、今住、 野坂	P	P	←				D							→	C	①当番担当者増による管理良、②委員会活動推進良③本部連絡良					
		1-2 委員会等活動の支援				←														→				
		1-3 本部への報告				←															→			
2	財務 会計	2-1 収入の確保	山本、松井	P	←					D								→	C	①収入の確保良、②予算作成中間管理適切、③出納管理適切				
		2-2 予算作成																			→			
		2-3 出納管理(適切性・有効性・透明性管理)				←					D											→		
3	会員 協賛団体	3-1 会員拡大(会員名簿・分析等による委員会活動サポート)	松井、滝沢	P	←					D									→	C	①会員数横ばい、②賛助会員維持			
		3-2 協賛団体の拡大				←																→		
4	会規 会議 名簿	4-1 規程類整備	仲野、佐方、 野坂	P	←					D										→	C	①規定の見直し実施、②役員会議事録整備、③会員分析未実施		
		4-2 議事録整備				←																	→	
		4-3 会員名簿の整備				←																		→
		4-4 会員分析				←																		→

H27年度に向けた課題 ①会員の増大、②賛助会員拡大、②会員分析

企画委員会 平成26年度行動計画・進捗管理 実施結果	委員会名 : 企画委員会	責任者:企画委員長 保坂	2015/4/5
----------------------------	--------------	--------------	----------

■行動指針(企画委員会に該当する行動指針)

- (1) 技術士倫理の啓発に努め、CPDにより技術者の資質向上に努める。
⇒CPDの実施
- (2) 産・学・官との交流を深め、連携を積極的に行い、技術士の活用を促進する。
⇒企業向けセミナー 産学官との交流基盤づくり検討

■中期計画(重点活動・施策についての3年間の成果実績)

計画目標	24年度	25年度	26年度
CPD実施回数増加	5回	8回	11回
CPD参加人員増加 (延べ人数累計)	249人	362人	504人 (24年比 202%)

■今年度(26年度)の行動計画

行動指針No	業務活動名	業務活動内容	担当 (下線:主推進者)	スケジュール・進捗状況 P:計画検討 D:実施 C:評価報告 A:改善													H26実施結果と評価		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
(1)	CPD実施	方針:カテゴリ毎の内容充実	熊田、進藤、志澤																
		①CPD講演会合格者祝賀会		P	D													13回CPD実施	○
		②技術者倫理の講演研修		P	P	D												14回 "	○
		③年次大会 CPD特別講演会			P	P	D											15回 "	○
		④見学会 東葛テクノプラザ試験研究施設見学				P	P	D										16回 "	○
		⑤開業技術士の経験ノウハウ					P	P	D									17回 "	○
		⑥科学技術講演会 小水力発電						P	P	D								18回 "	○
		⑦県庁技術士会との合同勉強会								P	P	D						19回 "	○
		⑧企業経営者・技術者による講演 12月								P	P		D					20回 "	○
		⑨企業支援事例										P	P		D			22回 "	○
		⑩環境関係講演会 大気汚染問題 新春講演会										P	P	D				21回 "	○
⑪防災に関する研修会												P	P	D		23回 "	○		
(2)	交流拡大と継続	方針:計画的な実施	桑島、河北、古畑、																
		①大学との連携 千葉大 千葉工大 日大ほか		P	D		D	D				D				D	大書きとの連携	○	
		②企業向研修会検討(国、県、市の助成制度ほか) ③千葉エリアオープンフォーラム等への参加、情報入		P				D								D	新テーマで実施せず× 参加し情報入手	○	
(1)	運営企画	企画委員会開催(メール会議含む)ほか運営	保坂、仲野		D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	11回開催	○		
		CPD会計			D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	企画会計報告実施	○		
		運営企画 事業計画・報告策定 進捗管理		D	進捗管理→→→										D	委員会ごとに実施し	○		

平成26年度 行動計画・進捗管理(結果)	委員会、チーム名: 産学官連携チーム 河北慶介	2015.5.23
----------------------	-------------------------	-----------

■行動指針(各委員会の該当する行動指針)

- (1)
- (2) 産学官との交流を深め、連携を積極的に行い、技術士の活用を促進する。
- (3)
- (4)

■中期計画(3年の重点活動・施策)

24年度	25年度	26年度
1. 2. 連携窓口・テーマの発掘、体制づくり	企業。行政の課題整理、提言	連携プロジェクト試行

■今年度(26年度)の行動計画

結果凡例 × 進展なし △ フォローアップ不足

行動指針	業務活動名	業務活動内容	担当	スケジュール・進捗状況													結果	備考欄				
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
(2)	連携のテーマ発掘((ア)、(イ)、(ウ)との交流・連携)	①産・学・官連携の実態(窓口)調査	河北 石谷 國 廣 松本 久保				P	P											×	各チームとの情報共有・連携		
		②課題の整理						P	P												×	
		③支部会員の専門分野・連携のテーマ発掘(企業支援チームと連携)									P	P										×
		④専門家チーム(人材登録ネットワーク)づくり												P								×
(2)	(ア)中小企業等の課題の整理	①企業訪問(企業支援チームと連携)					P												×	"		
		②中小製造業が抱える問題の抽出・ニーズの把握					P														×	
		・ちば新事業創出ネットワーク ・コラボ産学官千葉支部		P	D		P	P	D						D						△	
(2)	(イ)行政への政策提言のメニューづくり	①県・市の行政課題の抽出(産業振興課・公益法人等)						P	P										×	"		
		②行政(県・千葉市ほか)との意見交換会の実施				D		P	P		D					D					△	
		③行政への政策提言																			×	
(2)	(ウ)大学研究テーマのシーズの整理	①千葉エリアの産学連携大学研究テーマ(シーズ)の把握 千葉エリア産学官連携オープンフォーラム2014					P	P	D										△	"		
		②各大学オープンフォーラムへの参加					P	P													×	
		③千葉大・日本大学・千葉工大・木更津高专等との意見交換会の実施				P	D			D					D						△	

平成26年度 行動計画・進捗管理	企業支援チーム	責任者：桑島英明	2015.6.6
------------------	---------	----------	----------

■ 行動指針(各委員会の該当する行動指針)

- (1) 技術倫理に努め、CPDにより技術士の資質向上に努める。
- (2) 産・学・官との交流を深め連携を積極的に行い、技術士の活用を促進する。
- (3) 企業支援、科学技術・理科支援、コミュニティとの協働を活発化する。
- (4) 技術士の知名度向上および会員拡大を図る。

■ 中期計画(3年の重点活動・施策)

24年度	25年度	26年度
1. ワンポイント重点化 2. 人材資源名簿づくり 3. 産学連携探索 4. 企業との交流活発化 5. 新規友好企業増	1 企業との交流活発化 2 人材資源名簿づくり	1 企業との交流活発化 2 人材資源名簿づくりと活用

■ 今年度(26年度)の行動計画

行動指針N	重点活動テーマ	活動内容	担当	スケジュール・進捗状況 P:計画検討 D:実施 C:評価報告 A:改善												備考欄		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1,2,3,4	企業との交流活発化	1 支部イベント(CPD研修会、見学会)を利用し、郵送、メール等による情報発信	桑島、進藤、仲野志澤、熊田、古畑稲葉、和田、宗方、野坂、村上、大柳鈴木、徳永、服部秋元、鎌倉、宮田	P	D												<ul style="list-style-type: none"> ・企業内技術士活動と実践 ・年次大会特別講演会 ・見学会 ・企業経営者講演会 情報発信なし ・科学技術講演会 ・環境関係講演会 	
		2 友好企業との交流を深め、支援ニーズを探索し支援に繋ぐ				P	D											
		3 きぼーるでの技術相談などを利用した企業との交流		P	P	D												→ 随時 (人脈のある企業と交流)
		4 交流する新規企業増をはかるために外部セミナー・交流会に参加			D													→ 随時参加
2,3,4	人材資源名簿づくりと活用	1 支部HPにて人材登録申請の募集。	桑島、進藤、仲野志澤、熊田、和田稲葉、	PD													<ul style="list-style-type: none"> 目標 :120名 (実績 114名) 	
		2 支部イベント(CPD研修会、見学会等)参加者を対象に登録申請者の増加			PD	PD	PD	PD	PD	PD	PD	PD	PD	PD	PD			
		3 役員、委員および会員による紹介		D														
		4 外部からの支援要請による人材推薦		PD														→ 随時対応
		5 委員会およびプロジェクトチーム委員の推薦		PD														→ 随時紹介、推薦

「注」友好企業： 訪問経験あり、支援していた並びに現在支援している企業で、それら企業と関係のある担当者がイベント案内等の情報発信の対象とする企業

